

令和7年度 梓川公民館関係役員名簿

町会	町内公民館長	子ども会育成会長
八景山	河越 克彦	金井 信一
花見野	(理) 藤田 恵生	降旗 昌樹
上野丸	◎ 輪湖 秀敏	(監) 小松 元一
上立田	矢口 智美	◎ 鰐川 満
下立田	郷野 安晴	(監) 鰐川 久史
杏	田辺 啓二	○ 西牧 穂高
こまち	大池 正浩	倉田 昌代
角影台	斉藤 仁	久保田 美香
上角	兵頭 寛樹	横山 雅史
下角	森 哲也	原口 邦彦
小室	宮坂 貢	上兼 雄一
北々条	丸山 貴久	牛丸 剛
南北条	○ 水上 育朋	三村 徳義
大久保	丸山 直樹	丸山 泰司
北大妻	齊川英太郎	宮澤 彰
上大妻	越智 博臣	塚田 春奈
南大妻	百瀬 匡浩	小池 満
横沢	仁科 光夫	青木 英人
氷室	下山 好子	丸山 一
岩岡	中野 仁志	塚田 長志
	(理) 小松 英正	小松 民雄

◎会長 ○副会長 (理)理事 (監)監事 敬称略

このたび梓川地区町内公民館長の会長に選出されました上野公民館長の輪湖秀敏と申します。

公民館活動は、地域の皆様

就任のあいさつ



梓川地区
町内公民館長 会長
輪湖 秀敏

令和7年度 新体制でスタート

が集い、学び、交流し、共に成長する大切な場です。地域の課題やニーズに耳を傾け、子どもからお年寄りまで幅広い世代の方々にご参加いただける機会を作っていきたいと考えております。

昨年くらいからコロナ前のような活動ができるようになってきましたが、近年は公民館役員も土日勤務や夜間の交代勤務など働き方も多様化し、イベントを開催するの



梓川の
世帯数・人口

世帯数	4,835 戸
人口	11,969 人
男	5,964 人
女	6,005 人

(令和7年.5.1現在)



にも工夫が必要な場面が多くなってきたように感じます。

町内公民館相互の情報交換を図りながら、誰もが気軽に参加し、笑顔になれる場所づくりを目指し、地域の方々と一緒に取り組んでいきたいと思っています。

皆様のご指導をいただきながら、活発な公民館活動になるよう務めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

人事往来

新任のあいさつ



降簾 千絵
主事

今年度より梓川地区地域づくりセンターに異動になりました。降簾千絵と申します。早く地域のことを覚え、皆さまのお役に立てるよう精一杯頑張っていく所存です。ご指導・鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



今溝 由佳
事務員

本年度より梓川支所に事務員として島内出張所から異動になりました。支所は初めてなので、ご迷惑をお掛けするかもしれませんが、丁寧な対応を心掛けて頑張りたいと思います。よろしく願いいたします。



吉瀬 菜摘
保健師

4月から梓川地区の担当になりました保健師の吉瀬(きせ)菜摘と申します。皆さんがいきいきと暮らし続けられるよう、一緒に活動していきたいと思っています。見かけた際には声をかけていただくと嬉しいです。よろしく願いいたします。



退任のあいさつ

前梓川支所

奥原知夏主査

4年間、勤務させていただきましたが、この度、上下水道局営業課へ異動となりました。皆様を支えられながらいろいろな経験を積むことができました。梓川地区の皆様には、大変お世話になりました。ありがとうございます。

前梓川支所

有賀久見子事務員

梓川支所窓口で2年7か月お世話になりました。地区の皆様には、温かい目で見守っていただき成長することができました。

4月からの新天地でも仕事に励みたいと思います。ありがとうございました。

前梓川福祉ひろば

高山千穂コーディネーター

梓川地区福祉ひろばコーディネーターとして3年間お世話になりました。梓川のみなさんには、親切にいただき感謝しかありません。

みなさんと会えなくなることはとても寂しいですが、お元気でいてください。ありがとうございます。

みんなで集まろう カラオケ大会

3月21日(金) 梓川福祉センターに仮想のお店「スナック梓川」を開店し「みんなで集まろう! えんがわカラオケ大会」が開催されました。

コロナ禍で途切れかけたつながりを取り戻し、住民の方々に楽しく集まっていたらこうと梓川地区社協が企画しました。

約60人の方が集まり、17組の出場者が若々しい歌声を披露し、拍手と歓声に包まれました。会場では衣料品の出張販売も行われ、地区生活支援員の中川さんは「これからも気兼ねなく集まれる場を作っていきたい」と笑顔で話してくれました。



▶「上を向いて歩こう」を全員で合唱

上角町会のお花見会



▲桜の花を眺めながら乾杯

上角町会では毎年桜が咲く頃、町内の道路整備を行い、作業後にお花見会を開催しています。

今年も町内の方からいただいた桜の花を公民館に飾り、子どもから年配の方まで多くの人が参加し、お花見会が開催されました。参加者は綺麗な花を眺めながら美味しい料理を食べ、春の一日を満喫していました。

参加した人たちは「コロナ禍を経て人の集まる行事が減っているが、世代を超えた語らいの場として、この様な交流を継続してもらいたい」と話していました。

北大妻の道祖神

松本市内の道祖神は600基を超えており、梓川地区には86基あります。松本では集落入口やつじなどにある道祖神が、無病息災、子孫繁栄、五穀豊穰など集落の繁栄につながる神様として、今でも信仰されています。

北大妻でも、夏の七夕の頃小学生が道祖神に七夕飾りをお供えします。

写真の道祖神は、女神が酒器、男神が盃を持っており、裏には「正月吉日 北大妻西村中」と彫られています。身近な神様として古くから信仰されていた道祖神、皆様も足を止め、当時に思いをはせてみてはいかがでしょうか。



▶道祖神と大山神の碑

消防団ブロック訓練



▲細かく情報を記載

3月2日(日) 松本市消防団梓川ブロック訓練で、ハザードマップの制作が行われました。

松本市のハザードマップを元に、水害や土砂崩れなどの危険性が高い場所、町会ごとの避難所やAEDの設置場所などを書き込んでいき、より細かな梓川地区のマップが作成されました。このマップは縦軸と横軸の座標で場所を特定できるようにしており、素早く災害現場などを共有することが出来ます。

参加した団員は「有事の際の迅速な対応につながるもので、日々の訓練にも活かしていきたい」と話していました。

雑記帳



何故か鯉のぼりを見ると子どもだった頃を思い出します。

5月5日は「こどもの日」であり「端午の節句」でもあります。両方とも同じ日のため、混同されがちですが、本来はそれぞれ異なるものです。「こどもの日」は男女関係なく、子どもの幸せを願い母に感謝をする国民の祝日、「端午の節句」は男の子の成長をお祝する年中行事です。

端午というのは、もとは月の「端」の「午」の日という意味で5月に限ったことではありませんでした。しかし「午」と「五」の音が同じであることから、次第に5月5日に定まったと言われています。

「端午の節句」は奈良時代に中国から伝わったとされ、病氣や災いを避けるための行事でした。江戸時代になり、將軍に男の子が生まれると玄關前に馬印や幟を立ててお祝いをする風習が町民にも伝わり、形を変えて兜や五月人形、鯉のぼりが飾られるようになってきました。

たまには昔ながらの空を泳ぐ鯉のぼりをゆっくり見たいものです。